

# 令和7年度 高校生キャリアガイダンス 「地元の企業を知ろう in 美祢」報告書



主催：美祢市、美祢就職相談室

共催：成進高等学校

報告：美祢就職相談室

## 目次

令和7年度 高校生キャリアガイダンス

1.事業の目的 .....	- 1 -
2. 実施概要 .....	- 1 -
3. 参加事業所(順不同・敬称略) .....	- 1 -
4. ガイダンスの記録.....	- 2 -
5. 成進高等学校生徒アンケート結果 .....	- 5 -
6. 事業所アンケート結果 .....	- 12 -
7. 成進高等学校から事業所の皆様へ .....	- 15 -

## 1. 事業の目的

- ① 事業内容の紹介を通じて、生徒が社会の多様な仕事について理解を深める機会を提供するため「体験型キャリアガイダンス」を実施し、これにより生徒一人ひとりが自分に合った職業や働き方を見つけるサポートを行う。
- ② コミュニケーションが苦手な生徒でも、自分の将来像を具体的に描けるような仕組みを構築する。

## 2. 実施概要

日 時 令和8年2月17日(火曜日) 13時30分～15時30分

【受付:12時40分～、ガイダンス:全2回(各40分)】

会 場 成進高等学校

対 象 者 成進高等学校生徒(1年生、2年生の全生徒207名)及び保護者(13名)

※保護者は参加希望者のみ

当日参加者【生徒167名、保護者13名及び市内に事業所を有する24事業者】

## 3. 参加事業所(順不同・敬称略)

美祢市福祉課・美祢市病院事業局・Sエンジ・モルテン大津・クボタ製作所・

エームサービス・山口県警察・カワノ工業・東洋シート・美祢市観光協会・

美祢観光開発・吉田SKT・みとう悠々苑・認定こども園美祢幼稚園・

美祢市住みます芸人・フジミツ・シグナレックス・瀬戸内部品・高山産業・

秋芳鋳業・防衛省自衛隊山口地方協力本部・NGKエレクトロデバイス・

美祢警備保障・美祢社会復帰促進センター(法務省)

#### 4. ガイダンスの記録









## 5. 成進高等学校生徒アンケート結果

生徒の概要	就職希望	進学希望
1年 普通科	10人	25人
1年 総合ビジネス科	19人	14人
2年 普通科	20人	32人
2年 総合ビジネス科	31人	11人
集計	80人	82人

### ① ガイダンスを受けた事業所について、職場見学やインターンシップを希望する場合は記入してください。

回答生徒数	職場見学を希望	割合	インターンシップを希望	割合
162人	56人	34.6%	42人	25.9%

ガイダンス後、職場見学を希望した生徒は 34.6%、インターンシップを希望した生徒は 25.9%となり、一定数の生徒が「ガイダンスを受けた事業所」に対して具体的な行動を希望していることが分かります。

特に職場見学の希望が多いことから、生徒には体験に進む前に、職場環境や仕事内容を確認したいというニーズが高いと考えられます。まずは見学の機会を設けることで、地域産業や「働くこと」への理解・関心の向上につながることが期待されます。

② 事業所から受けた説明でどのようなことが印象に残りましたか。

(アンケート自由記述および追加コメントをもとに、主なテーマごとに整理したコメントの抜粋を以下に示します。)

テーマ	コメント抜粋
仕事内容、やりがい、仕事の中身 (同類コメント 21 件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一つひとつの仕事にも、ちゃんとやりがいがあること</li> <li>・ 現役の看護師さんの話を聞いて、さらに看護師になりたい気持ちが強くなった</li> <li>・ どこも作っていないものを作る強み、それぞれの事業所の技術のすごさ</li> </ul>
体験、実演が印象に残った (同類コメント 21 件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 病院事業では AED や血圧、幼稚園では本の読み聞かせなど体験できたことで、もっと詳しく知りたいと思った</li> <li>・ 体験して、どちらも繊細な技術がいるなどと思った</li> </ul>
人、雰囲気、説明の分かりやすさ (同類コメント 16 件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ どんな雰囲気なのかが伝わり、働いてみたいと思った</li> <li>・ 『人のため』『社会に貢献』など、何らかの形で貢献できることが印象に残った</li> <li>・ 高齢者は、僕らがいるから生活できるという言葉が印象に残りました、介護の仕事はとても大事だと思った</li> <li>・ 幼稚園児には声をワントーン高めにし笑顔で接する。辛いことがあっても決して当たらない</li> <li>・ 人との関わりの大切さ</li> </ul>
必要な力、資格、進路のヒント (同類コメント 11 件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 鑑識の大変さが分かった。人を助けるにはコミュニケーションが必要だと感じた</li> <li>・ どのような人が向いているのか、どのような事をするのかが印象に残った</li> <li>・ 進路相談の先生や親とよく相談することが大切</li> </ul>
驚き、新発見・イメージが変わった (同類コメント 10 件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 美祢市のいい所を広げるために色々なことにチャレンジしていてすごいと思った</li> <li>・ 映像で見た車体の大きさを聞いてビックリした。近くで見学してみたい</li> <li>・ 刑務所で働くのは大変なイメージだったが、皆さんの仲が良くいいなと思った</li> </ul>
職場環境、設備、安全への気づき (同類コメント 9 件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 車椅子は止まる時必ずブレーキをかけることが大切</li> <li>・ スマホや車には 1 ミリ以下の部品がたくさん使われている</li> <li>・ 民家が近くにある時は爆発の威力を小さくすること(安全面の配慮)</li> </ul>
全体の感想 / 短文・単語 (同類コメント 73 件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 見えないところで暮らしを支えていることがすごいと思った</li> <li>・ ガイダンスが、様々な工夫をしてありすごいと思ったし、簡単ではないと思った</li> <li>・ 原価だけでなく、製造工程や運搬なども踏まえて価格が決まるため、1 つの商品を考えるのに多くの時間がかかる</li> <li>・ 将来のことについて深く考える機会だった</li> <li>・ デモチベーションという言葉</li> </ul>

事業所からの説明に対する自由記述では、生徒が仕事内容や役割を具体的に理解し、「想像以上に大変だった」「社会に欠かせない仕事だと感じた」といった率直な感想が多く見られました。

体験・実演を通して理解が深まったとの声もあり、説明内容が「実感」として結びついた点が特徴的でした。

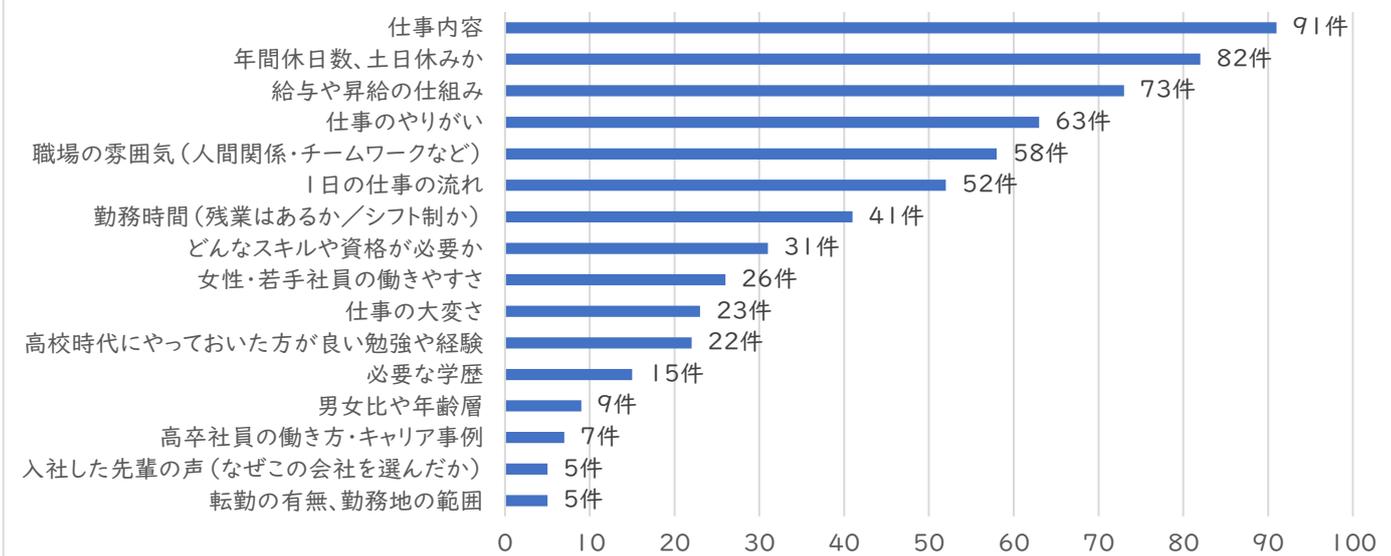
また、「職場の雰囲気が伝わった」「働いてみたいと思った」など、職場の人や空気感に触れることで関心が高まった回答も見られました。

さらに、「楽しかった」「すごいと思った」といった短い感想や単語のみの回答も一定数あり、生徒がその印象を素直に表している様子がうかがえます。

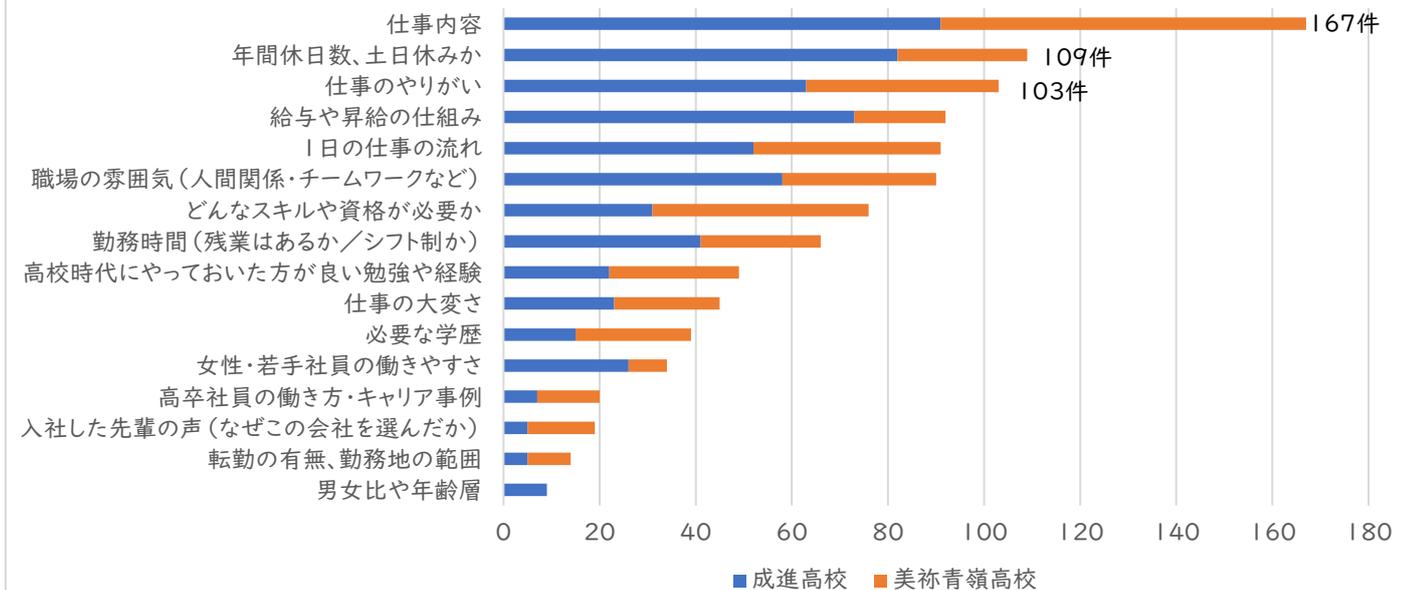
今後も、具体例や現場の工夫を交えた説明が、生徒の進路意識の形成に有効であると考えられます。

### ③ あなたが仕事を選ぶときに「これは大事にしたい」と思うことを、以下の中から3つ選んでください。

#### 仕事を選択するときに大事にしたいこと（成進）



#### 仕事を選択するときに大事にしたいこと（成進・青嶺）



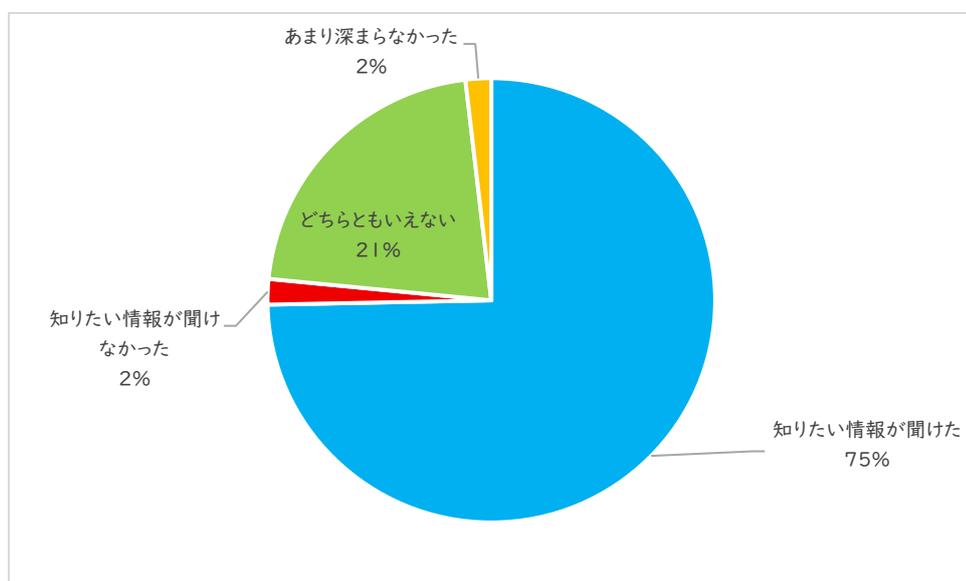
成進高校では「仕事内容」が最も多く挙がり、次いで「年間休日数・土日休み」「給与や昇給の仕組み」が続きました。これにより、生徒は仕事選びにおいて、まずは働く内容と生活に直結する条件（休み・収入）を重視し、現実的に比較できる情報を求めていることがわかります。

その後に「やりがい」「職場の雰囲気」が続いており、条件面で納得したうえで、自分との相性を確認したいという傾向が見られます。

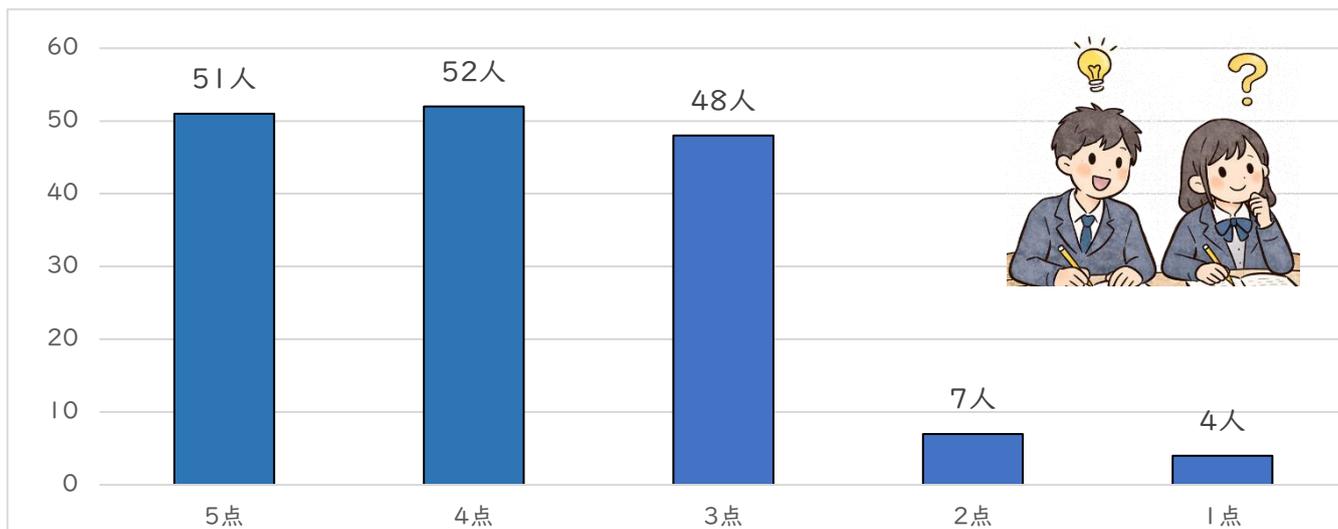
さらに、市内の二つの高校の結果を合わせて見ると、全体としても関心の上位は「仕事内容」「年間休日数・土日休み」「やりがい」「給与や昇給の仕組み」であり、まず仕事の具体的な内容を理解したうえで、生活に直結する条件を確認したいという点は共通しています。

これらの結果から、キャリア選択の初期段階にある生徒にとっては、抽象的な魅力よりも、業務の実態や働き方を具体的にイメージできる情報が意思決定の基礎となっていることが考えられます。

④ 事業所の説明を聞いて、自身の知識が深まったと感じますか。



⑤ ガイダンス全般を通じて、今後の自分の進路を決める上でどのくらい役に立つと思いますか。



とても役に立つ ←

→ 余り役に立たない

④ 「事業所の説明を聞いて、自身の知識が深まったと感じますか。」の設問では、「知りたい情報が聞けた」と回答した生徒が75%を占めており、事業所による説明が知識を深めるうえで有効であったことがうかがえます。

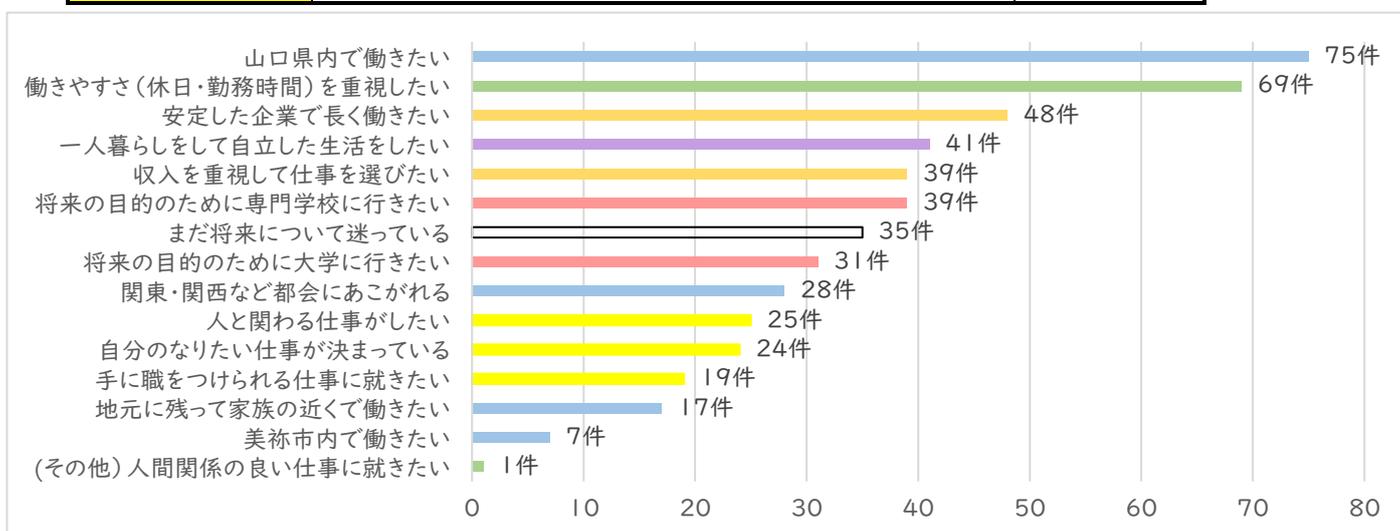
一方で、「どちらともいえない」と回答した生徒が21%おり、個々の関心や理解度に応じた補足説明の必要性も示唆されます。

⑤ 「ガイダンス全般を通じて、今後の自分の進路を決める上でどのくらい役に立つと思いますか。」の設問では、評価4・5を選択した生徒が約7割を占め、進路を考えるうえで有意義な機会であったと考えられます。

以上の結果から、本ガイダンスは、生徒の理解を深めるとともに、進路意識を喚起するうえでも効果的な取組であったといえます。

⑥ 現時点で、自分の将来に近いと思うものをすべてチェックしてください。

カテゴリ	項目	件数
勤務地	山口県内で働きたい	75件
	関東・関西など都会にあこがれる	28件
	地元に残って家族の近くで働きたい	17件
	美祢市内で働きたい	7件
働き方	働きやすさ(休日・勤務時間)を重視したい	69件
	(その他)人間関係の良い仕事に就きたい	1件
収入・安定	安定した企業で長く働きたい	48件
	収入を重視して仕事を選びたい	39件
生活志向	一人暮らしをして自立した生活をしたい	41件
進学志向	将来の目的のために大学に行きたい	31件
	将来の目的のために専門学校に行きたい	39件
迷い	まだ将来について迷っている	35件
仕事内容	人と関わる仕事がしたい	25件
	自分のなりたい仕事が決まっている	24件
	手に職をつけられる仕事に就きたい	19件



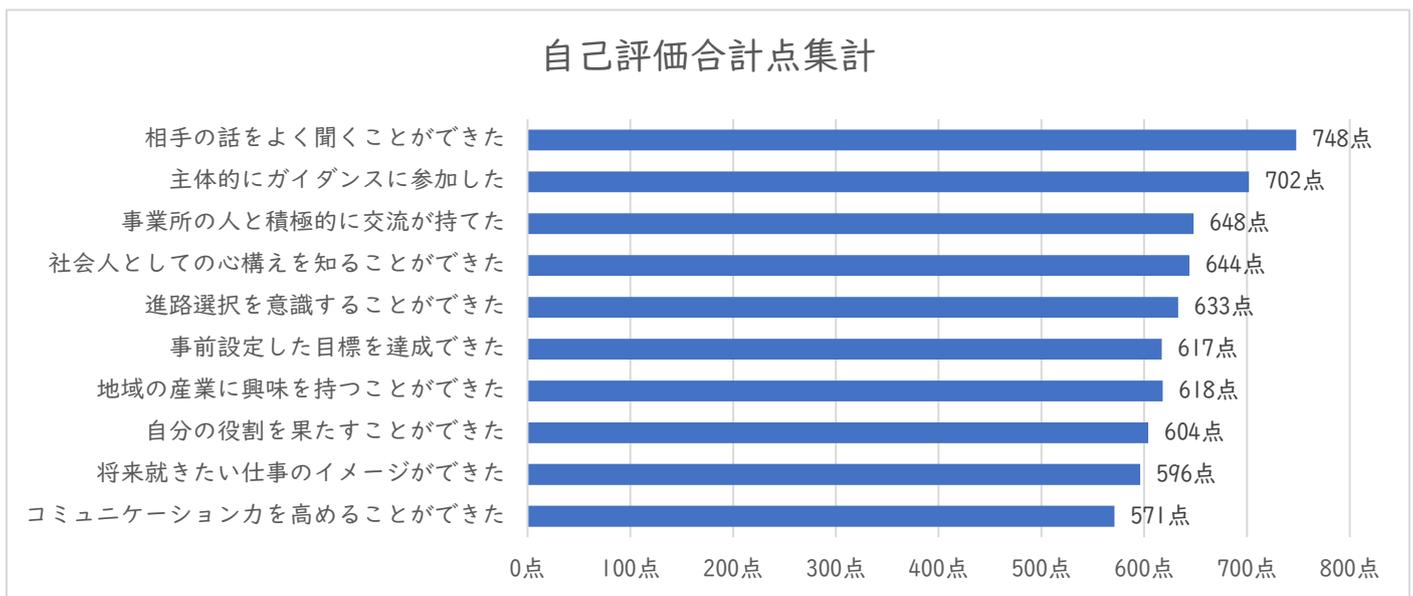
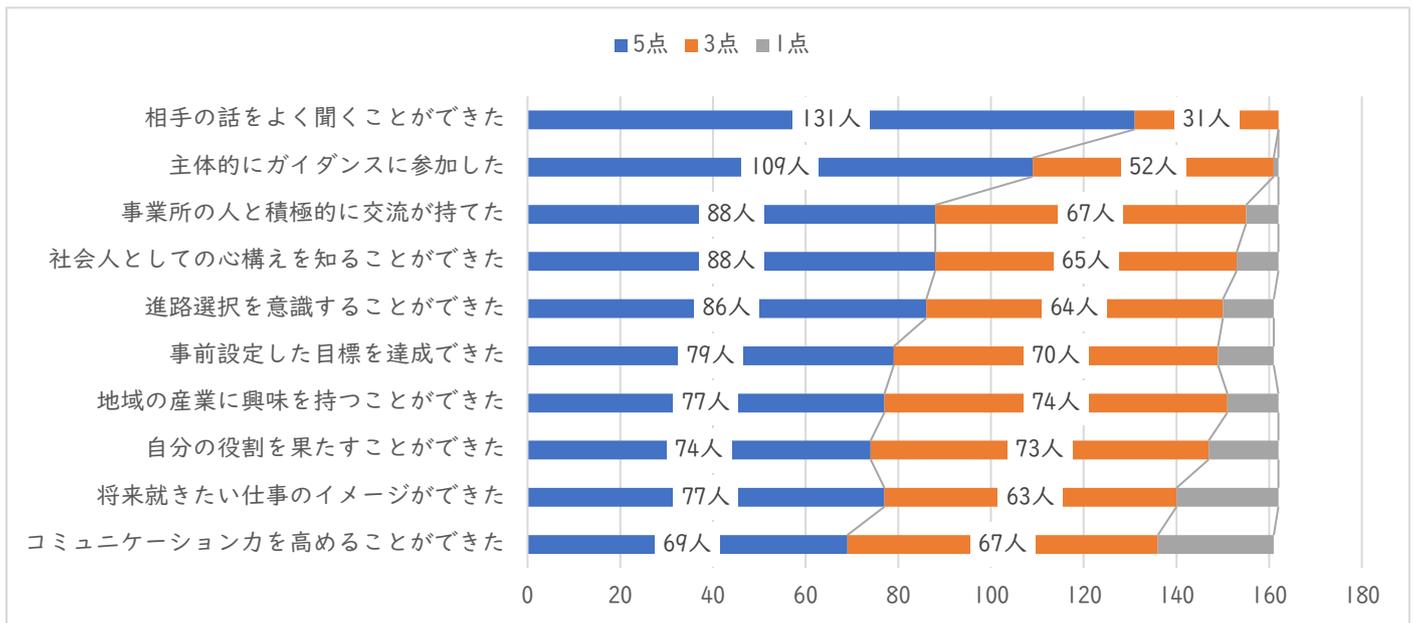
本質問の平均選択数は1人あたり約3項目であり、生徒は将来像を単一の要素ではなく、勤務地・働き方・収入・進学など複数の観点から捉えている傾向が見られます。

回答内容を見ると、「山口県内で働きたい」や「働きやすさ(休日・勤務時間)を重視したい」といった項目が上位に挙がっており、生活基盤の安定や現実的な条件を意識している様子がうかがえます。

また、「収入・安定」「一人暮らし」「進学」など将来設計に関わる項目も一定数選択されており、生徒が具体的な生活イメージを持ちながら進路を考えている段階にあるといえます。

一方で、「まだ将来について迷っている」との回答も一定数見られ、複数の選択肢を比較検討しながら将来像を模索している様子がうかがえます。

## ⑦ ガイダンス参加の振り返り(各項目を5点・3点・1点で自己採点)

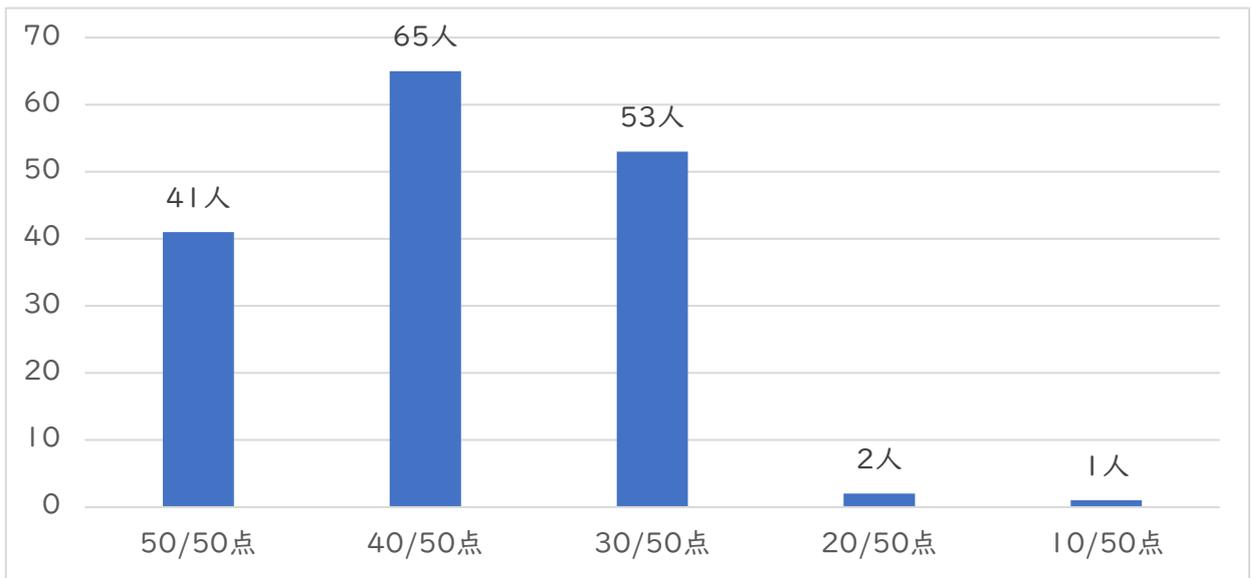


自己評価の結果から、各項目において肯定的な評価（高得点）の回答が多く、ガイダンスが概ね前向きに受け止められたことが確認されました。

特に「相手の話をよく聞くことができた」「主体的にガイダンスに参加した」は加重合計点が高く、体験型のプログラムが学習姿勢の形成に効果をもたらしたと考えられます。

また、「社会人としての心構え」や「進路選択の意識」に関しても一定の評価が得られており、キャリア意識の醸成に寄与したことがうかがえます。

⑧ 今回のガイダンスに自己採点するとしたら何点ですか。



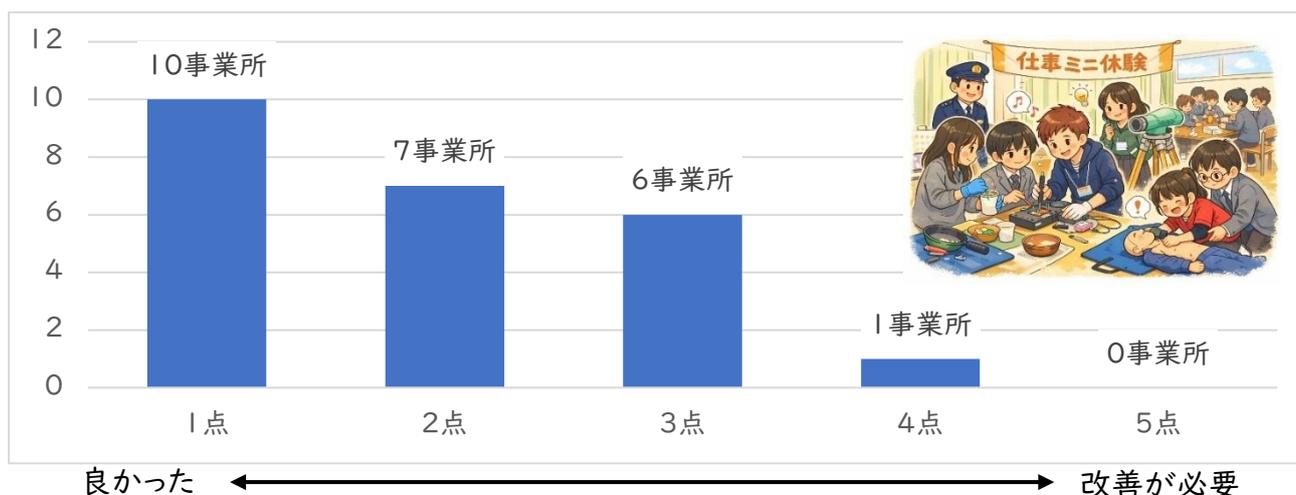
自己評価合計点の分布を見ると、「40点」が最も多く、次いで「30点」「50点」と続き、30～40点の層に回答が集中していることが分かります。満点である50点の回答も一定数見られ、全体としてガイダンスに対する自己評価は中～高水準で推移していることが確認できます。

⑨ 今回のガイダンスについて、美祢市へのご意見やご要望があればご記入ください。

- ・ 今後もこういった活動をしてほしい
- ・ とても楽しかったです
- ・ JR 西日本を呼んで欲しいです

## 6. 事業所アンケート結果

### ① 高校生キャリアガイダンスはいかがでしたか。



### ② 仕事ミニ体験で「良かった点・効果的だった点」を教えてください。(複数回答可)

項目		件数
仕事への関心・意欲が少し高まったように感じた		12件
体験形式の方が仕事内容が伝わりやすかった		10件
楽しそうに参加しているように見えた		9件
生徒から質問や発言があった(感想・質問・確認など)		8件
自発的に手伝ってくれる生徒がいた		7件
活発に参加していた		7件
協力して取り組む様子が見られた(声かけ、役割分担など)		4件
その他	体験形式の企業説明にした事により自発的に質問及び興味を示してくれた	1件
	昨年度の方が活発	1件

### ③ 仕事ミニ体験で「課題・気になった点」を教えてください。(複数回答可)

項目		件数
消極的で、体験に入りにくい生徒もいた		10件
照れや遠慮が強く、積極性が出にくいように感じた		8件
手順の理解が難しそうな場面があった		4件
学年混在により遠慮が出たように感じた		3件
特に課題はなかった		3件
人数が多く、全員に十分な体験機会を確保しにくかった		2件
物理的制約があった(スペース、設備、移動、備品など)		2件
時間が短く、説明と体験の配分が難しかった		1件
事業所側の負担が大きかった(人手・準備・通常業務への影響など)		0件
その他	最初は遠慮がちな生徒がほとんどだったが、皆最後は関心を持ってくれた	1件
	説明パートと体験パートと質問パートの配分ミスにより体験中に時間が来てしまったがガイダンスを2回に分けた事により、2回目では時間配分が上手く行った	1件

仕事ミニ体験に関する事業所回答(②・③)からは、体験型プログラムの効果を前向きに受け止めている様子がうかがえます。

良かった点としては、「仕事への関心・意欲の高まり」「仕事内容の伝わりやすさ」「楽しそうに参加する様子」などが上位に挙がり、生徒の反応を通じて事業所側が手応えを感じていることが分かります。

一方で、消極的・遠慮がちな生徒への対応や、時間配分・進行方法の工夫については課題として指摘されました。

なお、「事業所側の負担が大きかった」との回答が0件であった点は、運営側として特筆すべき成果であり、事業所の協力的かつ積極的な参画姿勢がうかがえます。

④ 生徒アンケートで、ガイダンス後の職場見学・インターンシップ希望を聞いていますが、受入れ対応について教えてください。

事業所名	職場 見学	インター ンシップ	事業所名	職場 見学	インター ンシップ
美祢市住みます芸人	○	×	美祢観光開発	○	○
認定こども園美祢幼稚園	○	○	カワノ工業	○	○
美祢警備保障	○	×	フジミツ	○	○
美祢市福祉課	×	×	S エンジ	○	○
美祢社会復帰促進センター	○	○	エームサービス	○	×
高山産業	○	○	NGK エレクトロデバイス	○	○
美祢市観光協会	○	×	東洋シート	○	○
モルテン大津	○	○	みとう悠々苑	○	○
美祢警察署	×	×	クボタ製作所	○	○
秋芳鋳業	○	○	シグナレックス	○	○
瀬戸内部品	○	○	美祢市立病院	○	○
防衛省自衛隊	○	○	吉田 SKT	○	○

(※ 順不同)

⑤ 今回のキャリアガイダンスで、特に重視されたこと、また心掛けられたことがあればご記入ください。

テーマ	コメント
生徒の関心や興味を高める工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幼稚園の職業の魅力を発信し、興味を持ってもらえるよう教材準備をした</li> <li>・ 会社の魅力を伝える</li> <li>・ 生徒が楽しめるようにした</li> <li>・ 仕事の楽しさを少しでも伝えられるように考えた</li> <li>・ 仕事や会社に関心を持ってもらう</li> <li>・ 高校生が楽しめるものを重視した</li> <li>・ いかに生徒に関心を持ってもらうかに心掛けた</li> </ul>
分かりやすく伝える工夫 (専門用語を避ける等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 分かりやすく、難しい用語を使わないように心がけた</li> <li>・ 難しいことよりも、できる限りわかりやすく魅力を伝えることを重視した</li> <li>・ 専門的な言葉をできるだけ使わず、高校生にも伝わりやすいよう、身近な例を交えた説明を心掛けた</li> </ul>

体験型を重視 (体験を通じた理解)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 体を動かす体験を取り入れた</li> <li>・ 体験すること</li> <li>・ 説明だけでは伝わりにくいため、体験形式を重点的に行うことで理解や興味が高まり、自発的な質問につながった</li> <li>・ 作業を通して仕事内容や達成感を感じられるように対応した</li> <li>・ 体験型を生徒が興味をもって参加できるように心がけた</li> <li>・ 他の事業所と仕事ミニ体験の内容が似たものにならないよう検討した</li> </ul>
一人ひとりへの対応 声かけ(個別配慮)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一人ひとりと向き合い、その子に合わせた指導を心がけた</li> <li>・ まんべんなく声掛けを行い、手助けが必要そうな生徒と一緒に作業するよう心がけた</li> </ul>
双方向・参加型の進行 (問いかけ・グループワーク)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一方的な説明ではなく、問いかけやグループワークを行い、生徒が関わりながら自分事として捉えられるよう工夫した</li> <li>・ 体験重視により、最後の質問も自発的に出るようになった</li> </ul>
進路・就職を意識した 内容づくり 学びの持ち帰り	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 就職に対する考え方</li> <li>・ 何か役立つことを持って帰ってもらえるように企画した</li> <li>・ 卒業生の先輩が直接説明することで、親近感を持ちやすくなるよう配慮した。(※進路選択の具体化にもつながる工夫)</li> </ul>

事業所側が特に「生徒の関心を引くこと」「分かりやすく伝えること」「体験を通じて理解を深めること」を重視していたことが分かります。

また、一人ひとりへの声掛けや問いかけ、グループワークなど、双方向性を意識した工夫も見られ、生徒の反応に応じて柔軟に関わろうとする姿勢がうかがえます。

さらに、進路意識の醸成につながる内容づくりや、他事業所との重複を避ける配慮も見られ、各事業所が単なる説明にとどまらず、学びの質を意識して参加していたことが確認されました。

## ⑥ 運営面で改善してほしい点があればご記入ください。

テーマ	コメント
会場環境・レイアウト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 同室は声が聞こえにくい</li> <li>・ 他の事業所と会場が一緒だったため、騒がしく感じたため、会場を別々にしてほしい</li> <li>・ 車椅子を使用したため、IFの方がありがたい</li> </ul>
時間配分・進行	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 終了後の後片付けにもう少し時間をいただきたい</li> <li>・ 午後から一(1コマ目)は、避けた方がよい</li> <li>・ 時間が少し長かったので、短時間にして 3 クールの方が生徒が飽きにくいのではないか</li> </ul>
事前共有・準備情報	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 会場備品(プロジェクター等)の使用法の説明がほしかった</li> <li>・ 事前に、生徒がどのような業務に関心があるか参考資料がほしい</li> <li>・ 会場の情報を前日でも教えてもらえると、準備都合上助かる</li> </ul>
生徒入室タイミング	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 開始前に高校生が入室してきたため、その後の主催者挨拶に行っても戸惑った</li> <li>・ 準備段階で生徒が教室にいと、やりにくさを感じた</li> </ul>

学校側(先生)のサポート・声かけ	・ 生徒とどう接したらよいか分からない場面もあり、先生側からもう少し生徒に声かけしてもらえると、緊張が和らいだのではと感じた
体験回数・事業所負担への配慮	・ 同じような内容を 2 回行うため、1 回の体験の方が事業所負担が少なくて助かる

運営面について、会場の音環境、時間配分、備品説明、準備時の動線などに関する具体的な改善意見が寄せられた。特に、総生徒数を各事業所に割り振る都合上、同室での運用や声の漏れにより実施しにくい場面が生じた点は、運営側としても十分に認識しており、真摯に受け止めています。

時間設定に関しては、「40分×2回」「短時間×3回」「長時間×1回」など、最適な実施回数・時間構成について意見が分かれており、次年度に向けて検討すべき重要な課題であると考えます。

一方で、プロジェクターの使用方法的な事前共有や、準備時間帯に生徒が教室内にいる可能性についての事前案内は、次年度の実施に向けて運営手順や事前連絡方法の見直し及び改善を図ってまいります。

⑦ 2025年度に 新卒の求人を出しましたか(複数回答可)。

求人について	件数
高校生の新卒求人を出した	14件
高校生以上(大学、専門等)の求人を出した	9件
今年度は新卒の採用活動はしていない	7件

⑧ 新卒の採用活動について、採用(選考)結果を教えてください(複数回答可)。

求人について	件数
市内の高校生を内定した	10件
県内の高校生を内定した	5件
県内の高校生以上を内定した	3件
県外の高校生以上を内定した	3件
今年度は採用できなかった	8件
不採用(不合格)にした	4件

7. 成進高等学校から事業所の皆様へ

高校生のキャリアガイダンスにおいて、学校側は生徒たちに将来の選択肢や可能性を提供することを重視しています。

ただし、生徒たちの多様性や将来への不確実性を考慮すると、事業所から提供される情報や機会が非常に重要です。そのため、ガイダンスそのものが極めて重要だと考えています。

生徒の多様性が高まる中で、将来像を描けていない生徒も多く存在しますし、一方で目標を持ち、将来像を描けている生徒もいます。どの基準や視点を採用するかは難しい決定ですが、生徒たちに適切な情報を提供することが重要だと考えています。

事業所側は地元企業の良さや魅力をアピールすると同時に、具体的な仕事内容や入社後の生活について説明いただくことを希望します。

学校側としては、生徒たちに幅広いキャリアを考える機会を提供することを目標としています。